

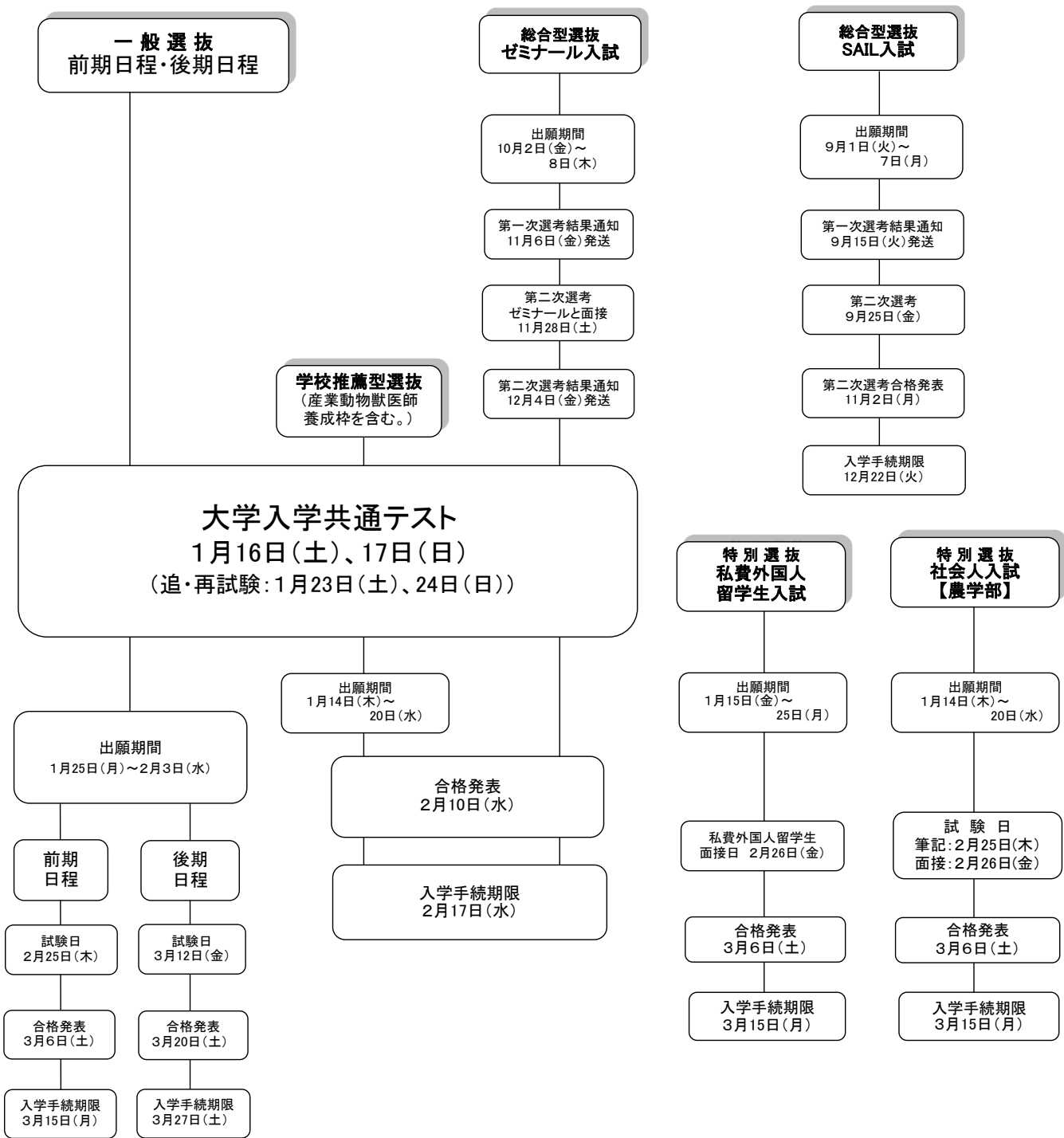
令和 9 (2027) 年度

入 学 者 選 拔 要 項



令和9（2027）年度 東京農工大学入学者選抜試験日程一覧

〈学部1年次入学試験〉



学生募集要項の発表・配布時期

・総合型選抜学生募集要項	令和8年7月下旬頃
・学校推薦型選抜学生募集要項	令和8年8月下旬頃
・特別選抜学生募集要項	令和8年8月下旬頃
・一般選抜学生募集要項	令和8年10月下旬頃

重 要

本要項に記載した情報は令和 8 年（2026 年）7 月時点の内容です。

各試験の詳細につきましては、順次公開される各種学生募集要項をご確認ください。

また、募集要項公開後も、選抜方法や日程等に変更が生じる可能性があります。

出願にあたっては、必ず本学ホームページにて最新の情報を確認してください。

【本学ホームページ「学部：入試情報 > 重要なお知らせ」URL、QR コード】

https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_gakubu/info/



「特別選抜」の読み替えについて

本学が実施する社会人入試及び私費外国人留学生入試は、令和 9 年度大学入学者選抜実施要項（令和 8 年 5 月 27 日付け 8 文科高第 318 号文部科学省高等教育局長通知）における入試方法の「総合型選抜」に該当します。

このため、本要項中「特別選抜」とあるのは、「総合型選抜」と読み替えるものとします。

目 次

I. 東京農工大学アドミッション・ポリシー	1
II. 入学定員および募集人員	5
III. 入学者の選抜方法	6
IV. 一般選抜	8
1. 出願資格	8
2. 選抜方法	8
3. 選抜期日等	8
4. 入学者選抜実施教科・科目等	8
V. その他の入試	14
ゼミナール入試（総合型選抜）〈農学部〉	15
S A I L入試（総合型選抜）〈工学部〉	16
学校推薦型選抜〈農学部・工学部〉	18
学校推薦型選抜（産業動物獣医師養成枠）〈農学部〉	20
社会人入試（特別選抜）〈農学部〉	21
私費外国人留学生入試（特別選抜）〈農学部・工学部〉	22
VI. 受験上および修学上の配慮を必要とする者の事前相談	24
VII. 入試情報開示について	24
VIII. 募集要項等の発表および請求方法	25

I. 東京農工大学アドミッション・ポリシー（入学受入方針）

（前文）

東京農工大学は、東京武蔵野に位置し、その歴史は、1874 年に設置された内務省農事修学場および蚕業試験掛をそれぞれ農学部、工学部の創基とし、1949 年に大学として設置され、前身校を含め長きに亘る歴史と伝統を有する大学です。この建学の経緯から、人類社会の基幹となる農業と工業を支える農学と工学の二つの学問領域を中心として、幅広い関連分野をも包含した全国でも類を見ない特徴ある科学技術系大学として発展してきました。

20 世紀の社会と科学技術が顕在化させた「持続発展可能な社会の実現」に向けた課題を正面から受け止め、農学、工学およびその融合領域における自由な発想に基づく教育研究を通して、世界の平和と社会や自然環境と調和した科学技術の進展に貢献するとともに、課題解決とその実現を担う人材の育成と知の創造に邁進することを基本理念としています。この基本理念を「使命志向型教育研究－美しい地球持続のための全学的努力」(MORE SENSE : Mission Oriented Research and Education giving Synergy in Endeavors toward a Sustainable Earth) と標榜し、自らの存在と役割を明示して、21 世紀の人類が直面している課題の解決に真摯に取り組んでいます。

（学士課程）

東京農工大学は、学士課程において、学生の自主的・自律的な学習活動を尊重し、科学技術系の大学に相応しい学識、知の開拓能力、課題探求能力、問題解決能力を兼ね備えた人材の育成を行っています。

本学の理念と以下に掲げる農工両学部の教育目的に応じて、本学で学ぶことに明確な目的を持った人の入学を求めています。特に、自然や科学技術に関心を持ち、意欲と主体性を持って勉学に励む人を、国内外から広く受け入れます。

農学部では、農学、生命科学、環境科学、獣医学分野の諸問題の解決と持続発展可能な社会の形成に資するため、広く知識を授けるとともに基礎的専門知識を授け、豊かな教養、高い倫理観と国際感覚を具備し、共生社会を構築して人類社会に貢献できうる、先駆的で人間性豊かな人材を育成することを目的としています。

工学部では、工学分野の科学技術に関する基礎および専門知識・技術を授け、大自然に対する真理の探究心と解決すべき諸問題の本質を見抜く能力を育成します。また、持続可能な社会の実現に生かすことのできる幅広い教養と専門知識を有し、人類社会に貢献できうる、先駆的で人間性豊かな人材を育成することを目的としています。

上記の目的を達成するため、本学は入学を希望する学生に対し、アドミッション・ポリシーにおいて、次のような資質、素養、能力等を求めます。

農学部（学士課程）アドミッション・ポリシー

（学びの目的）

農学部においては、農学、生命科学、環境科学、獣医学分野の諸問題の解決と持続発展可能な社会の形成に資するため、広く知識を授けるとともに、専門の学芸を教授し、知的、道徳的及び応用能力を展開させて優れた能力を有する人材を養成することを目的とします。

（アドミッション・ポリシー）

- I. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有し、課題を解くことができ、理数系科目や英語科目について、実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している者。
- II. 人類が直面している諸課題に対し、多面的に考察して判断し、自分の考えをまとめ、日本語で他者にわかりやすく表現できる者。
- III. 地域社会や国際社会における食料・生命・資源・環境に関する様々な問題に関心を持ち、身に付けた知識を生かして主体的に考え、他人と協力・協働して、これらの問題解決に立ち向かう意欲を持つ者。

生物生産学科

（教育目標）

生物生産学科は、日本および世界の農業を広く深く理解するとともに、農業に関わる高度な専門的知識を身につけ、生産技術環境、植物生産、動物生産および農業経営経済の分野において優れた基礎的・応用的能力を有する、広い視野に立つ人材を養成します。

（アドミッション・ポリシー）

1. 人類が直面する食料・農業・農村問題、持続的農業等の問題に関心があり、農業に関わる高度な専門的知識を身につけたいという意欲を持つ者。
2. 生物学等の理科系科目ならびに国語・数学・英語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

応用生物科学科

（教育目標）

応用生物科学科は、分子生命化学、生物機能化学、生物制御学などのバイオサイエンス・バイオテクノロジーの分野において優れた基礎的・応用的能力を有する、広い視野に立つ人材を養成します。

（アドミッション・ポリシー）

1. バイオサイエンス・バイオテクノロジーの分野に関心があり、それらの分野での活動を通じて社会的、国際的に貢献したいという意欲を持つ者。
2. 生物学・化学等の理科系科目ならびに国語・数学・英語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

環境資源科学科

（教育目標）

環境資源科学科は、人類が地球環境と調和して生きていくための科学的基盤を創成することを目指し、生物学、化学、物理学などの自然科学に関する基礎学力を身につけ、環境や資源に関する問題解決に貢献しうる洞察力和探究心をそなえた人材を養成します。

（アドミッション・ポリシー）

1. 環境や資源に関する諸問題に関心があり、そうした諸問題の解決に貢献したいという意欲を持つ者。
2. 生物学・化学・物理学等の理科系科目ならびに国語・数学・英語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

地域生態システム学科

（教育目標）

地域生態システム学科は、森林・農村・都市を連続した地域と捉え、農の営みや自然と人間活動の多様な関係を対象として、自然科学と人文社会科学の協働による地域管理・計画に関する知識を身につけ、企業・研究機関・行政機関・地域社会における問題解決型の有能な人材を養成します。

（アドミッション・ポリシー）

1. 地域の生態や生産・社会の管理・計画・再生などに関わる諸問題に関心があり、その解決にグローバルな視点をもって貢献したいという意欲を持つ者。
2. 数学・理科・英語等の基礎科目に十分な学力を有するとともに、社会系の科目にも興味をもつ者。

共同獣医学科

（教育目標）

獣医師は人類と動物の健康と福祉に貢献するという理念に基づき、本共同獣医学科は、高度獣医療の提供、人類の健康と食の安全、生命科学研究の発展に活躍できる国際的な視野を持つ人材を養成します。

（アドミッション・ポリシー）

1. 獣医師としての目標を持ち、獣医学の発展に貢献しようとする意欲を持ち、自然や生命現象に関心を持ち、それを探求しようとする意欲を持つ者。
2. 生物学等の理科系科目ならびに国語・数学・英語等の基礎科目に十分な学力を有するとともに、読解力や科学的応用力を有する者。

工学部（学士課程）アドミッション・ポリシー

（学びの目的）

工学部においては、工学分野の科学技術に関する基礎、専門知識・技術、専門性を発揮するために役立つ論理的思考力、表現力、多様性を受容する力や協働性を育む教養を学ぶ機会を提供します。

主体性を持って人生を切り開いていくために必要な専門性と、人類が直面している諸課題に対し、多面的に考察して判断し、自分の考えをまとめ、他者にわかりやすく表現することができる能力を有する人材を養成することを目的とします。

（アドミッション・ポリシー）

- I. 大自然の真理に対する探求心とモノ作りマインドを持ち、理工学分野の科学技術に関心があり、身に付けた知識を生かして主体的に考え、他人と協力・協働して、持続可能な社会の実現に立ち向かう意欲を持つ者。
- II. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有し、課題を解くことができ、理数系科目や英語科目について、実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している者。

生命工学科

（教育目標）

生命工学科は、生命に関連する科学技術全てを包含するため、極めて多彩な学問領域を取り扱います。これらの学問領域の基礎知識を網羅的に習得した上で、最先端の技術力、論理的な思考力・実行力および国際的コミュニケーション能力を身につけた、あらゆる生命工学分野のニーズに即応して活躍できる国際的な技術者・研究者を養成します。

（アドミッション・ポリシー）

1. 最先端の生命工学分野に強い関心があり、研究者・専門技術者として社会のニーズに対応しつつ活躍したいという意欲を持つ者。
2. 生物学・化学・物理学等の理科系科目、ならびに数学・英語・国語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

生体医用システム工学科

（教育目標）

生体医用システム工学科は、現代医療における計測・診断技術に必要な物理学や電子情報工学等を融合した形で体系的に学ぶことで、医療にかかわる工学技術と生物学・医学とを総合的かつ深く理解する能力を有し、従来の学問体系に捉われない柔軟な発想のもとに革新的な生体医用工学技術の研究開発を行うことができる人材を養成します。

（アドミッション・ポリシー）

1. 工学的アプローチによる医療技術の研究開発に関心があり、物理学や電子情報工学といった工学技術を融合的に学び新たな生体医用工学技術を創出したいという意欲を持つ者。
2. 物理学・化学・生物学等の理科系科目、ならびに数学・英語・国語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

応用化学科

（教育目標）

応用化学科は、現代社会を支える化学・材料科学領域における諸問題を理解し、解決するために、基礎力、応用力、創造力に立脚した高機能先端材料の創製を通して、最先端の化学が関連する広範な産業に貢献できる人材を養成します。

（アドミッション・ポリシー）

1. 自然、生命、環境、エネルギー等の分野に関係する幅広い化学・材料科学に関心があり、これらの分野での研究開発に必要な基礎力をしっかりと身につけた上で、最先端の化学・材料科学分野において活躍したいという意欲をもつ者。
2. 化学・物理学等の理科系科目、ならびに数学・英語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

化学物理工学科

(教育目標)

化学物理工学科は、化学と物理の両方を総合的に学ぶことで、社会的ニーズが高まっているエネルギー・環境等のグローバルな課題に果敢に挑戦し、それらを解決できる実践力を涵養します。さらに、課題の全体像をシステムとして俯瞰し、ブレイクダウンし、さらに数理的に取り扱うことで課題の俯瞰・詳細化・最適化を行い、基本原理に立脚した要素技術・システムを提案し開発できる高度グローバルエンジニアを養成します。

(アドミッション・ポリシー)

1. 化学・物理学全般はもちろんのこと、エネルギー、新素材、環境などに関心があり、課題に対して化学と物理学の両視点・方法論から問題を分析して、新しい解決策を創造し、国際的な視野を持つエンジニアとして活躍したいという意欲を持つ者。
2. 化学・物理学等の理科系科目、ならびに数学・英語・国語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

機械システム工学科

(教育目標)

機械システム工学科は、機械システム工学の発展と革新を通じて、持続可能かつスマートな社会を実現し、人類のフロンティアを開拓するイノベーション人材を育成します。数学・物理を基盤として機械システム工学全般に係る基盤教育を推進するとともに、機械物理学と知能情報技術等の先端知識や、分野横断的な知を融合した専門教育を実施します。知的な好奇心、洞察力と創造力、社会性と倫理観、課題解決力、語学力と国際性を発揮して世界で活躍する技術者を養成します。

(アドミッション・ポリシー)

1. 機械システム工学全般に関心があり、持続可能かつスマートな社会を実現し、また人類のフロンティアを開拓すべく機械システム工学を発展・革新させたいという意欲を持つ者。
2. 数学・物理学等の理数系科目、ならびに英語等の基礎科目にも十分な学力を有している者。

知能情報システム工学科

(教育目標)

知能情報システム工学科は、人間と親和性の高い知的な情報システムの創出ならびに次世代の情報社会の基盤となる高度情報システムの構築に必要な教育研究を行います。コンピュータのしくみやプログラミングなど情報工学の基礎から最新の人工知能まで、知能情報システム工学の専門技術を幅広く習得し、現代社会が抱える諸問題の解決に貢献する高度ITイノベーション人材を養成します。

(アドミッション・ポリシー)

1. 先端的な情報システムの構築、知能情報技術の創出など、新しい情報システムを創り出すことに興味があり、最先端技術の研究者・技術者としてグローバルに活躍したいという意欲を持つ者。
2. 数学・物理学等の理数系基礎科目、ならびに英語・国語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

Ⅱ．入学定員および募集人員

学部	学 科 名	入学定員	募 集 人 員						
			前期日程試験	後期日程試験	ゼミナール入試	学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 (産業動物獣医師養成枠)	社会人入試	私費外国人留学生入試
農学部	生物生産学科	57 人	38 人	13 人		6 人		若干名	若干名
	応用生物科学科	71 人	47 人	16 人		8 人		若干名	若干名
	環境資源科学科	61 人	40 人	12 人	3 人	6 人		若干名	若干名
	地域生態システム学科	76 人	53 人	15 人		8 人		若干名	若干名
	共同獣医学科	35 人	25 人	6 人		4 人	若干名 (最大2名程度)		若干名
	学 部 計	300 人	203 人	62 人	3 人	32 人			

注) 1. 前期日程の募集人員には、学校推薦型選抜（産業動物獣医師養成枠）、社会人入試および私費外国人留学生入試の「若干名」を含みます。ただし、選抜の結果、合格者なしとなる場合があります。

2. ゼミナール入試および学校推薦型選抜の合格者数が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は前期日程の募集人員に加えます。

学部	学 科 名	入学定員	募 集 人 員				
			前期日程試験	後期日程試験	SAIL入試	学校推薦型選抜	私費外国人留学生入試
工学部	生命工学科	81 人	42 人	25 人	7 人	7 人	若干名
	生体医用システム工学科	56 人	28 人	18 人	6 人	4 人	若干名
	応 用 化 学 科	81 人	42 人	36 人		3 人	若干名
	化学物理工学科	81 人	41 人	31 人	5 人	4 人	若干名
	機械システム工学科	102 人	52 人	37 人	5 人	8 人	若干名
	知能情報システム工学科	120 人	64 人	42 人	7 人	7 人	若干名
	学 部 計	521 人	269 人	189 人	30 人	33 人	

注) 1. 前期日程の募集人員には、私費外国人留学生入試の「若干名」を含みます。ただし、選抜の結果、合格者なしとなる場合があります。

2. SAIL入試および学校推薦型選抜の合格者数が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は前期日程の募集人員に加えます。

Ⅲ. 入学者の選抜方法

1. 入学試験の概要

本学の入学者選抜は、次により行います。

選抜区分等		実施学部	大学入学 共通テスト	入試概要等 (詳細は必ず募集要項を確認してください)	掲載 ページ
一般選抜	前期日程	農学部 工学部	課す	前期日程（2月25日）と後期日程（3月12日）に分けて教科・科目に係る個別テストを実施します。一般選抜に出席するには、大学入学共通テストで本学が指定する教科・科目をすべて受験する必要があります。	8～13
	後期日程			なお、国公立大学の前期日程に合格し入学手続を完了した者は、後期日程を受験しても合格者となりません。	
総合型選抜	ゼミナール入試	農学部 (環境資源科学科)	課す	講義と実験の体験を通じて、一般選抜では評価することが難しい専門分野への適性、意欲、目的意識、コミュニケーション能力、基礎学力などを総合的に判定するゼミナール入試を実施します。	15
	SAI L入試	工学部 (応用化学科を除く)	課さない	特別な活動成果を持つ者の中から、活動成果のレポートや面接などの成績、さらに出身学校調査書等の内容を主な資料として総合的に評価する総合型選抜を実施します。	16・17
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜	農学部 工学部	課す	大学入学共通テストの成績と学校長の推薦書、出身学校調査書および志望理由書で総合評価する学校推薦型選抜を実施します。	18・19
	学校推薦型選抜 (産業動物獣医師養成枠)	農学部 (共同獣医学科)	課す	大学入学共通テストの成績と学校長の推薦書、出身学校調査書、志望理由書および産業動物獣医師又は公務員獣医師の確保を目的とした修学資金給付制度を制定している機関・団体等の推薦状で総合評価する学校推薦型選抜を実施します。	20
特別選抜	社会人入試	農学部 (共同獣医学科を除く)	課さない	社会人としての実践的な経験を通じて、勉学に強い意欲を持った者に高等教育を受ける機会を与えることを目的とした入試を実施します。	21
	私費外国人留学生入試	農学部 工学部	課さない	日本国籍を有しない者のうち、外国において学校教育における12年の課程を修了した者等で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験および本学指定の英語検定試験を受験し、指定の基準を満たしている者を対象に入試を実施します。	22・23

2. 一般選抜の実施方式

一般選抜は、分離分割方式で実施します。

注： 分離分割方式とは、入学定員を「前期日程」と「後期日程」の二つに分け、まず、「前期日程」の試験の実施と合格者の決定を行い、その合格者が入学手続を行います。次に、「後期日程」の試験の実施と合格者の決定を行い、その合格者が入学手続を行います。

その際、「前期日程」の試験に合格し、所定の期日（令和9年3月15日）までに入学手続を完了した者については、「後期日程」に出願し、受験しても「後期日程」の大学・学部合格者とはなりません。

また、「前期日程」または「後期日程」の試験に合格し、その入学手続を行わなかった者は、その「前期日程」または「後期日程」の大学・学部への入学を辞退したものとして取り扱います。

3. 一般選抜の出願について

志願者は、「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。したがって、本学の「前期日程」に出願する者は、他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の「前期日程」に出願することはできません。

また、本学の「後期日程」に出願する者は、他の国公立大学・学部の「後期日程」に出願することはできません。

※一般社団法人公立大学協会ホームページ（<https://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照

4. 学内併願について

本学の「前期日程」と「後期日程」の両方に出願することは、同じ学科の場合、異なる学科の場合ともに可能です。

5. 注意事項

東京農工大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人東京農工大学安全保障輸出管理規程」を定め、学生の受入れに際し厳格な審査を行っています。

規制事項に該当する場合には、本学から経済産業省（経産省）への許可申請が必要となり、すぐに教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。

また、本学からの許可申請について、経産省が国際平和・安全の維持の観点から不許可とした場合、結果的に本学での教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。

IV. 一般選抜

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、志願する学部・学科が指定する令和9年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者としてします。詳細については、別紙2（10～13ページ）を参照してください。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育または通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者および令和9年3月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の各項目の一つに該当する者および令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（昭和56年文部省告示第153号）
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和9年3月までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準（平成17年文部科学省告示第137号）を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者（平成17年文部科学省告示第167号）
 - ④ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規定（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）および令和9年3月31日までに合格見込みの者で、令和9年3月31日までに18歳に達する者
 - ⑥ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者および令和9年3月31日までに合格見込みの者で、令和9年3月31日までに18歳に達する者
 - ⑦ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月31日までに18歳に達する者

(注) 上記(1)、(2)および(3)①～⑥に該当しない者であって、(3)の⑦で出願しようとするものは、出願前に個別の入学資格審査が必要となります。

入学資格審査を希望する者は、令和8年9月4日(金)までに、本学学務部入試企画課へ問い合わせてください。

ただし、大学入学共通テストに出願後、新たに本学へ出願しようとする者は、令和8年12月18日(金)までに問い合わせてください。

2. 選抜方法

前期日程および後期日程においては、入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績、教科・科目に係る個別テストの成績および出身学校調査書の内容を総合して行います。

3. 選抜期日等

	出願期間	選抜期日	合格発表日	入学手続期限
前期日程	令和9年1月25日(月)から	令和9年2月25日(木)	令和9年3月6日(土)	令和9年3月15日(月)
後期日程	令和9年2月3日(水)まで	令和9年3月12日(金)	令和9年3月20日(土)	令和9年3月27日(土)

4. 入学者選抜実施教科・科目等

次の別紙1（9ページ）および別紙2（10～13ページ）を参照してください。

令和9年度東京農工大学入学者選抜方法等
(一般選抜、専門高校・総合学科卒業生入試)

学部	日程	選抜方法等 学科名	教科・科目に係る個別テスト等								専門高校・総合学科 卒業生入試						教科・科目に係る個別テスト等の日程	備考（欠員の補充の方法等）	
			教科・科目に係る別テストを課す	実技検査等				2段階選抜			教科・科目に係る別テストを課す	実技検査等							募集人員
				実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	主として、調査書の内容と大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数			実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す				
									定員に対する倍率	その他									
農学部	前期日程試験	生物生産学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	追加合格		
		応用生物科学科																	
		環境資源科学科																	
		地域生態システム学科																	
共同獣医学科																			
農学部	後期日程試験	生物生産学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	追加合格		
		応用生物科学科																	
		環境資源科学科																	
		地域生態システム学科																	
共同獣医学科																			
工学部	前期日程試験	生命工学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	追加合格		
		生体医用システム工学科																	
		応用化学科																	
		化学物理工学科																	
機械システム工学科																			
工学部	後期日程試験	生命工学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	追加合格		
		生体医用システム工学科																	
		応用化学科																	
		化学物理工学科																	
機械システム工学科																			

(注) ○印は該当することを、×印は該当しないことを示す。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔令和8年度〕 志願倍率		個別 テスト の区分 ・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト		大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テストの配点										その他の 選抜方法 等	
			教科	科目名等	教科	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点 合計			
農学部〔5.4〕 300人 前期 203 後期 62 その他 35	生物生産学科 57人 前期 38 後期 13 その他 6	前期 2月25日	国	『国語』 『地総地探』、『歴総日探』、 『歴総世探』、『公倫』、『公政』、 『地歴公』 } から1	数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A(図形の性質、場合の数と確率)、数B(数列)、 数C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)	共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	50	950	学校推薦型 社会人		
					理	物基・物、化基・化、生基・生から2	教科・科目に係る個別テスト				300	200	200	300	1000	私費外国人 留学生		
		後期 3月12日			外	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	計	200	*100	*100	500	600	500	50	1950	追加合格		
						英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	50	950	学校推薦型 社会人		
		教科・科目に係る個別テスト								400	400	私費外国人 留学生						
		計			200	*100	*100	200	200	600	50	1350	追加合格					
	応用生物科 学科 71人 前期 47 後期 16 その他 8	前期 2月25日			地歴 公民	『数Ⅰ、数A』と『数Ⅱ、数B、数C』の2	数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A(図形の性質、場合の数と確率)、数B(数列)、 数C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)	共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	50	950	学校推薦型 社会人
							理	物基・物、化基・化、生基・生から2	教科・科目に係る個別テスト				300	200	200	300	1000	私費外国人 留学生
		後期 3月12日			外		英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	計	200	*100	*100	500	600	500	50	1950	追加合格	
							英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	50	950	学校推薦型 社会人	
		教科・科目に係る個別テスト									400	400	私費外国人 留学生					
		計			200		*100	*100	200	200	600	50	1350	追加合格				
	環境資源科 学科 61人 前期 40 後期 12 その他 9	前期 2月25日		理 外 情	『物』、『化』、『生』、『地学』 から2 『英(リスニング含む)』、『独』、『仏』、『中』、 『韓』 から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕		数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A(図形の性質、場合の数と確率)、数B(数列)、 数C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)	共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	50	950	ゼミナール 学校推薦型 社会人
							理	物基・物、化基・化、生基・生から2	教科・科目に係る個別テスト				300	200	200	300	1000	私費外国人 留学生
		後期 3月12日					外	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	計	200	*100	*100	500	600	500	50	1950	追加合格
								英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	50	950	学校推薦型 社会人
		教科・科目に係る個別テスト										400	400	私費外国人 留学生				
		計					200	*100	*100	200	200	600	50	1350	追加合格			
	地域生態シ ステム学科 76人 前期 53 後期 15 その他 8	前期 2月25日		地歴 外		『数Ⅰ、数A』と『数Ⅱ、数B、数C』の2 『物』、『化』、『生』 から2 『英(リスニング含む)』、『独』、『仏』、『中』、 『韓』 から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕	数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A(図形の性質、場合の数と確率)、数B(数列)、 数C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)	共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	50	950	学校推薦型 社会人
							理	物基・物、化基・化、生基・生から2	教科・科目に係る個別テスト				300	200	200	300	1000	私費外国人 留学生
		後期 3月12日					外	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	計	200	*100	*100	500	600	500	50	1950	追加合格
								英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	50	950	学校推薦型 社会人
		教科・科目に係る個別テスト										400	400	私費外国人 留学生				
		計					200	*100	*100	200	200	600	50	1350	追加合格			
共同獣医学科 35人 前期 25 後期 6 その他 4	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地総地探』、『歴総日探』、 『歴総世探』、『公倫』、『公政』、 『地歴公』 } から1	数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A(図形の性質、場合の数と確率)、数B(数列)、 数C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)		共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	50	950	学校推薦型 社会人		
				理	物基・物、化基・化、生基・生から2		教科・科目に係る個別テスト				300	200	200	300	1000	学校推薦型 (産業動物獣 医師養成枠)		
	後期 3月12日			外	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ		計	200	*100	*100	500	600	500	50	1950	私費外国人 留学生		
					英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ		共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	50	950	学校推薦型 社会人		
	教科・科目に係る個別テスト									400	400	私費外国人 留学生						
	計			200	*100		*100	200	200	600	50	1350	追加合格					

学 部 ・ 学 科 等 名 及 び 入 学 定 員 等 〔 令 和 8 年 度 〕 志 願 倍 率		個別 テスト の区分 ・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト		大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テストの配点									その 他 の 選 抜 方 法 等
			教科	科 目 名 等	教科	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点 合計	
工学部〔4.6〕 521人 前期 269 後期 189 その他 63	生命工学科 81人 前期 42 後期 25 その他 14	前期 2月25日	国 地歴 公民	『国語』 『地総地探』、『歴総日探』、 『歴総世探』、『公倫』、『公政』、 『地歴公』 } から1	数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A(図形の性質、場合の数と確率)、数B(数列)、 数C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)	共 通 テ ス ト	200	*100	*100	200	200	200	50	950	SAIL 学校推薦型 私費外国人 留学生 追加合格
					理	物基・物、化基・化、生基・生から2	教科・科目に係る個別テスト				350	200	200	150	900	
					外	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	計	200	*100	*100	550	600	350	50	1850	
		後期 3月12日	数 理 外	『数Ⅰ、数A』と『数Ⅱ、数B、数C』の2 『物』、『化』、『生』から2 『英(リスニング含む)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』 から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕	数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A(図形の性質、場合の数と確率)、数B(数列)、 数C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)	共 通 テ ス ト	100	*50	*50	200	200	100	30	680	
					理	物基・物、化基・化から1	教科・科目に係る個別テスト				150	300	200		650	
					外	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	計	100	*50	*50	350	500	300	30	1330	
	生体医用シ ステム工学科 56人 前期 28 後期 18 その他 10	前期 2月25日	国 地歴 公民	『国語』 『地総地探』、『歴総日探』、 『歴総世探』、『公倫』、『公政』、 『地歴公』 } から1	数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A(図形の性質、場合の数と確率)、数B(数列)、 数C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)	共 通 テ ス ト	200	*100	*100	200	200	200	50	950	SAIL 学校推薦型 私費外国人 留学生 追加合格
					理	「物基・物」と「化基・化、生基・生から1」の2	教科・科目に係る個別テスト				350	200	200	150	900	
					外	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	計	200	*100	*100	550	600	350	50	1850	
		後期 3月12日	数 理 外	『数Ⅰ、数A』と『数Ⅱ、数B、数C』の2 (『物』と『化』、『生』、『地学』から1)の2 『英(リスニング含む)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』 から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕	数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A(図形の性質、場合の数と確率)、数B(数列)、 数C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)	共 通 テ ス ト	100	*50	*50	200	200	100	30	680	
					理	物基・物	教科・科目に係る個別テスト				150	300	200		650	
					外	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	計	100	*50	*50	350	500	300	30	1330	
	応用化学科 81人 前期 42 後期 36 その他 3	前期 2月25日	国 地歴 公民	『国語』 『地総地探』、『歴総日探』、 『歴総世探』、『公倫』、『公政』、 『地歴公』 } から1	数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A(図形の性質、場合の数と確率)、数B(数列)、 数C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)	共 通 テ ス ト	200	*100	*100	200	200	200	50	950	学校推薦型 私費外国人 留学生 追加合格
					理	物基・物、化基・化、生基・生から2	教科・科目に係る個別テスト				350	200	200	150	900	
					外	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	計	200	*100	*100	550	600	350	50	1850	
		後期 3月12日	数 理 外	『数Ⅰ、数A』と『数Ⅱ、数B、数C』の2 『物』、『化』、『生』から2 『英(リスニング含む)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』 から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕	数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A(図形の性質、場合の数と確率)、数B(数列)、 数C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)	共 通 テ ス ト	100	*50	*50	200	200	100	30	680	
					理	物基・物、化基・化から1	教科・科目に係る個別テスト				150	300	200		650	
					外	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	計	100	*50	*50	350	500	300	30	1330	

学 部 ・ 学 科 等 名 及 び 入 学 定 員 等 〔 令 和 8 年 度 〕 〔 志 願 倍 率 〕		個別 テスト の区分 ・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト		大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テストの配点										その 他 の 選 抜 方 法 等
			教科	科 目 名 等	教科	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点 合計		
工学部〔4.6〕 521人 前期 269 後期 189 その他 63	化学物理工 学科 81人 前期 41 後期 31 その他 9	前期 2月25日	国	『国語』 『地総地探』、『歴総日探』、 『歴総世探』、『公倫』、『公政』、 『地歴公』 } から1	数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A(図形の性質、場合の数と確率)、数B(数列)、 数C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)	共 通 テ ス ト	200	*100	*100	200	200	200	50	950	SAIL 学校推薦型 私費外国人 留学生 追加合格	
			地歴		理	物基・物と化基・化の2	教科・科目に係る個別テスト				350	200	200	150	900		
			公民		外	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・ 英語コミュニケーションⅢ・論理・表現Ⅰ・論理・表現Ⅱ・論理・表現Ⅲ	計	200	*100	*100	550	600	350	50	1850		
		後期 3月12日	数	『数Ⅰ、数A』と『数Ⅱ、数B、数C』の2 『物』と『化』の2 『英(リスニング含む)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』 から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕	数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A(図形の性質、場合の数と確率)、数B(数列)、 数C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)	共 通 テ ス ト	100	*50	*50	200	200	100	30	680		
			理		理	物基・物、化基・化から1	教科・科目に係る個別テスト				150	300	200		650		
			情		外	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・ 英語コミュニケーションⅢ・論理・表現Ⅰ・論理・表現Ⅱ・論理・表現Ⅲ	計	100	*50	*50	350	500	300	30	1330		
	機械システ ム工学科 102人 前期 52 後期 37 その他 13	前期 2月25日	国	『国語』 『地総地探』、『歴総日探』、 『歴総世探』、『公倫』、『公政』、 『地歴公』 } から1	数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A(図形の性質、場合の数と確率)、数B(数列)、 数C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)	共 通 テ ス ト	200	*100	*100	200	200	200	50	950	SAIL 学校推薦型 私費外国人 留学生 追加合格	
			地歴		理	「物基・物」と「化基・化、生基・生から1」の2	教科・科目に係る個別テスト				350	200	200	150	900		
			公民		外	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・ 英語コミュニケーションⅢ・論理・表現Ⅰ・論理・表現Ⅱ・論理・表現Ⅲ	計	200	*100	*100	550	600	350	50	1850		
		後期 3月12日	数	『数Ⅰ、数A』と『数Ⅱ、数B、数C』の2	数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A(図形の性質、場合の数と確率)、数B(数列)、 数C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)	共 通 テ ス ト	100	*50	*50	200	200	100	30	680		
			理		理	物基・物	教科・科目に係る個別テスト				150	300	200		650		
			数		外	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・ 英語コミュニケーションⅢ・論理・表現Ⅰ・論理・表現Ⅱ・論理・表現Ⅲ	計	100	*50	*50	350	500	300	30	1330		
知能情報シ ステム工学科 120人 前期 64 後期 42 その他 14	前期 2月25日	理	〈『物』〉と〈『化』、『生』、『地学』から1〉の2 『英(リスニング含む)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』 から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕	数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A(図形の性質、場合の数と確率)、数B(数列)、 数C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)	共 通 テ ス ト	200	*100	*100	200	200	200	50	950	SAIL 学校推薦型 私費外国人 留学生 追加合格		
		外		理	「物基・物」と「化基・化、生基・生から1」の2	教科・科目に係る個別テスト				350	200	200	150	900			
		情		外	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・ 英語コミュニケーションⅢ・論理・表現Ⅰ・論理・表現Ⅱ・論理・表現Ⅲ	計	200	*100	*100	550	600	350	50	1850			
	後期 3月12日	数		[6教科8科目]	数	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A(図形の性質、場合の数と確率)、数B(数列)、 数C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)	共 通 テ ス ト	100	*50	*50	200	200	100	30		680	
		理			理	物基・物	教科・科目に係る個別テスト				150	300	200			650	
		外			外	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・ 英語コミュニケーションⅢ・論理・表現Ⅰ・論理・表現Ⅱ・論理・表現Ⅲ	計	100	*50	*50	350	500	300	30		1330	

[教科・科目名の表記等について]

教科・科目名は、次のように略しています。

「国語」→国、「地理歴史」→地歴、「地理総合、地理探究」→地総地探、「歴史総合、日本史探究」→歴総日探、「歴史総合、世界史探究」→歴総世探、「公共、倫理」→公倫、「公共、政治・経済」→公政

「地理総合／歴史総合」教科

「数学Ⅰ、数学A」→「数Ⅰ、数A」「数学Ⅱ、数学B、数学C」→「数Ⅱ、数B、数C」

「理科」→理、「物理基礎」→物基、「化学基礎」→化基、「生物基礎」→生基、「地学基礎」→地基、「物理」→物、「化学」→化、「生物」→生

「外国語」→外、「英語」→英、「ドイツ語」→独、「フランス語」→仏、「中国語」→中、「韓国語」→韓

(注) 1. 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

(1) 地理歴史および公民について2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

(2) 理科について

① 農学部生物生産学科、応用生物科学科、環境資源科学科、地域生態システム学科においては、『物理』『化学』『生物』『地学』から2科目選択とします。

② 農学部共同獣医学科においては、『物理』『化学』『生物』から2科目選択とします。

③ 工学部生命工学科、応用化学科においては、『物理』『化学』『生物』から2科目選択とします。

④ 工学部化学物理工学科においては、『物理』『化学』の2科目を指定します。

⑤ 工学部生体医用システム工学科、機械システム工学科、知能情報システム工学科においては、『物理』を指定、『化学』『生物』『地学』から1科目選択の計2科目とします。

(3) 外国語は200点満点とし、『英語』を選択した場合は、リーディングを130点、リスニングを70点とします。ただし、工学部後期日程試験においては外国語を100点満点に換算し、『英語』を選択した場合は、リーディングを65点、リスニングを35点とします。なお、リスニングの免除を大学入試センターに申請し、許可された者（以下「リスニング免除者」という。）については、リーディングの得点を200点満点（工学部後期日程試験においては100点満点）に換算します。また、リスニング免除者を除き、リスニングを受験しなかった場合は、『英語』を受験しなかった者として扱います。

(4) 工学部後期日程試験においては、国語を100点満点に換算し、地理歴史および公民を50点満点に換算します。

(5) 農学部前期日程試験・後期日程試験、工学部前期日程試験においては、『情報Ⅰ』を50点満点に、工学部後期日程試験においては、『情報Ⅰ』を30点満点に換算します。

2. 【教科・科目に係る個別テスト】欄

(1) 「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」は全範囲から出題します。「数学A」は「図形の性質」「場合の数と確率」、「数学B」は「数列」、「数学C」は「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

(2) 「物基・物」は、「物理基礎」「物理」の全範囲から出題します。「化基・化」は、「化学基礎」「化学」の全範囲から出題します。「生基・生」は、「生物基礎」「生物」の全範囲から出題します。

3. 【大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テストの配点】欄

配点に＊印を付してある教科は選択教科の配点を示します。

4. 大学入学共通テストの成績の過年度利用は行いません。

V. その他の入試

本学では、一般選抜以外に、下記の入試を実施します。詳細は、令和8年7月下旬発表の「総合型選抜学生募集要項」および8月下旬発表予定の「学校推薦型選抜募集要項」「特別選抜学生募集要項」を参照してください。

令和9年度東京農工大学入学選抜方法等 (総合型選抜、学校推薦型選抜、特別選抜)

学部	選抜区分等 学 科 名	総合型選抜		学校推薦型選抜		特 別 選 抜	
		ゼミナール 入 試	S A I L 入 試	学校推薦型 選 抜	学校推薦型 選 抜 (産業動物獣 医師養成枠)	社会人入試	私費外国人 留学生入試
農 学 部	生 物 生 産 学 科	×	×	○	×	○	○
	応 用 生 物 科 学 科	×	×	○	×	○	○
	環 境 資 源 科 学 科	○	×	○	×	○	○
	地域生態システム学科	×	×	○	×	○	○
	共 同 獣 医 学 科	×	×	○	○	×	○
工 学 部	生 命 工 学 科	×	○	○	×	×	○
	生体医用システム工学科	×	○	○	×	×	○
	応 用 化 学 科	×	×	○	×	×	○
	化 学 物 理 工 学 科	×	○	○	×	×	○
	機械システム工学科	×	○	○	×	×	○
	知能情報システム工学科	×	○	○	×	×	○
選 抜 方 法 等		別紙3の とおり (15ページ)	別紙4の とおり (16・17ページ)	別紙5の とおり (18・19ページ)	別紙6の とおり (20ページ)	別紙7の とおり (21ページ)	別紙8の とおり (22・23ページ)

(注) ○印は該当することを、×印は該当しないことを示す。

令和9年度 ゼミナール入試（総合型選抜）

東京農工大学

実施学部・学科名 募 集 人 員	農学部 環境資源科学科 …………… 3人												
出 願 資 格 ・ 要 件	出願資格 次のいずれかに該当する者 (1) 高等学校または中等教育学校を令和7年4月以降に卒業した者および令和9年3月までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育または通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を令和7年4月以降に修了した者および令和9年3月までに修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和7年4月以降に修了した者および令和9年3月までに修了見込みの者 出願要件 次のすべてに該当する者 (1) 学習成績が優秀な者 学校長から高い評価を得ている者（志願者評価書により確認します。） (2) 環境資源科学科における勉学を強く志望し、第一志望とする者 (3) 第二次選考合格者は、令和9年度大学入学共通テストにおいて指定する3教科5科目を必ず受験すること (4) 最終選考に合格した場合は、必ず入学することを確約できる者												
選 抜 方 法 等	出願書類（志望理由書、活動報告書、出身学校調査書）の内容、ゼミナールの結果、面接および大学入学共通テストの成績を総合して選考します。志願者評価書は参考資料とします。第一次選考と第二次選考、最終選考を行います。 なお、大学入学共通テストの成績の過年度利用は行いません。 <table><tr><th colspan="3">大学入学共通テストで受験を課す教科・科目名（3教科5科目）</th></tr><tr><td>数 学</td><td>『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』</td><td>計2科目</td></tr><tr><td>理 科</td><td>『物理』『化学』『生物』『地学』</td><td>から2科目</td></tr><tr><td>外国語</td><td>『英語（リスニングを含む。）』</td><td>を1科目</td></tr></table> 令和9年度大学入学共通テストにおいて、受験を課す教科・科目の合計得点が、大学入試センターが発表する該当教科・科目の平均点の合計の1.2倍以上である受験生を最終選考合格者とします。 （注1）理科（配点200点）の平均点は、「物理」「化学」「生物」「地学」のそれぞれの平均点を合計した値を0.5倍したものとします。 （注2）外国語（「英語」、配点200点）の平均点は、リーディングの平均点の1.3倍とリスニングの平均点の0.7倍を合計した値とします。	大学入学共通テストで受験を課す教科・科目名（3教科5科目）			数 学	『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』	計2科目	理 科	『物理』『化学』『生物』『地学』	から2科目	外国語	『英語（リスニングを含む。）』	を1科目
大学入学共通テストで受験を課す教科・科目名（3教科5科目）													
数 学	『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』	計2科目											
理 科	『物理』『化学』『生物』『地学』	から2科目											
外国語	『英語（リスニングを含む。）』	を1科目											
出 願 期 間	令和8年10月2日（金）～令和8年10月8日（木）												
選 抜 期 日	第一次選考（書類選考）結果通知発送日： 令和8年11月6日（金） 第二次選考（ゼミナールと面接）： 令和8年11月28日（土） 大学入学共通テスト（3教科5科目）： 令和9年1月16日（土）・17日（日）												
合 格 発 表 日	第一次選考：令和8年11月6日（金） ※結果通知発送 第二次選考：令和8年12月4日（金） ※結果通知発送 最 終 選 考：令和9年2月10日（水） ※結果通知発送												
そ の 他	詳細については、令和8年7月下旬発表の総合型選抜学生募集要項を参照してください。												

令和9年度 SAIL入試（総合型選抜）

東京農工大学

実施学部・学科名 募 集 人 員	工学部 生命工学科 …………… 7人 生体医用システム工学科 … 6人 化学物理工学科 …………… 5人 機械システム工学科 ……… 5人 知能情報システム工学科 … 7人
出 願 資 格 ・ 要 件	出願資格 次のいずれかに該当する者 (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育または通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を、修了した者および令和9年3月までに修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の各項目の一つに該当する者および令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（昭和56年文部省告示第153号） ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和9年3月までに修了見込みの者 ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準（平成17年文部科学省告示第137号）を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者（平成17年文部科学省告示第167号） ④ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号） ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規定（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）および令和9年3月31日までに合格見込みの者で、令和9年3月31日までに18歳に達する者 ⑥ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者および令和9年3月31日までに合格見込みの者で、令和9年3月31日までに18歳に達する者 ⑦ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月31日までに18歳に達する者 なお、入学資格審査を希望する者は、本学学務部入試企画課にお問い合わせください。 出願要件 次のすべてに該当する者 (1) 学習成績が優秀な者 志願者評価書（生命工学科と生体医用システム工学科および化学物理工学科志願者のみ提出）は、学校長が発行して厳封されたものを提出してもらいますが、学校ごとに提出できる志願者の人数は特に制限しません。 (2) 本学生命工学科、生体医用システム工学科、化学物理工学科、機械システム工学科、知能情報システム工学科における勉学を強く志望し、第一志望とする者 (3) 最終選考に合格した場合は必ず入学することを確約できる者

選 抜 方 法 等	【生命工学科】 特別活動レポートの内容に関するプレゼンテーションとその内容に関する質疑応答を含む面接を実施し、理科に関する基礎学力と論理的な思考力、さらに潜在的な能力を総合的に評価します。 【生体医用システム工学科】 特別活動レポートの内容に関するプレゼンテーションとその内容に関する質疑応答を含む面接を実施し、特別活動に対する理解と論理の進め方、ならびに、物理（物理基礎を含む）および数学に関する基礎学力、理工学全般にかかわる潜在的な能力を総合的に評価します。 【化学物理工学科】 特別活動レポートの内容に関するプレゼンテーション（10分）とレポートおよびプレゼンテーションの内容に関する質疑応答（20分）を含む面接を実施し、特別活動に対する理解や論理の進め方など、自然科学に対する潜在的な能力を総合的に評価します。 【機械システム工学科】 特別活動レポートの内容に関するプレゼンテーションとその内容に関する質疑応答を含む面接、および数学と物理に関する口頭試問を実施し、特別活動に対する自発的な取り組み方、理解と論理の進め方、数学と物理に関する基礎学力など機械システム工学と自然科学にかかわる潜在的な能力を総合的に評価します。 【知能情報システム工学科】 特別活動レポートの内容に関するプレゼンテーションと、その内容に関する質疑応答を通した問題解決能力や論理的思考力の確認および数学に関する基礎能力の確認を含む面接を行い、特別活動に対する理解や論理の進め方など、情報工学や電気電子工学に対する潜在的な能力を総合的に評価します。
出 願 期 間	令和8年9月1日（火）～令和8年9月7日（月）
選 抜 期 日	第一次選考（書類選考）結果通知発送日 ： 令和8年9月15日（火） 第二次選考（最終選考） ： 令和8年9月25日（金）
合 格 発 表 日	第一次選考： 令和8年9月15日（火） ※結果通知発送 第二次選考： 令和8年11月2日（月） ※結果通知発送
そ の 他	詳細については、令和8年7月下旬発表の総合型選抜学生募集要項を参照してください。

令和9年度 学校推薦型選抜

東京農工大学

実施学部・学科名 募 集 人 員	<table> <tr> <td data-bbox="499 439 572 465">農学部</td><td data-bbox="722 387 1121 521"> 生物生産学科 6人 応用生物科学科 8人 環境資源科学科 6人 地域生態システム学科 8人 共同獣医学科 4人 </td></tr> <tr> <td data-bbox="499 658 572 685">工学部</td><td data-bbox="722 607 1121 763"> 生命工学科 7人 生体医用システム工学科 4人 応用化学科 3人 化学物理工学科 4人 機械システム工学科 8人 知能情報システム工学科 7人 </td></tr> </table>	農学部	生物生産学科 6人 応用生物科学科 8人 環境資源科学科 6人 地域生態システム学科 8人 共同獣医学科 4人	工学部	生命工学科 7人 生体医用システム工学科 4人 応用化学科 3人 化学物理工学科 4人 機械システム工学科 8人 知能情報システム工学科 7人
農学部	生物生産学科 6人 応用生物科学科 8人 環境資源科学科 6人 地域生態システム学科 8人 共同獣医学科 4人				
工学部	生命工学科 7人 生体医用システム工学科 4人 応用化学科 3人 化学物理工学科 4人 機械システム工学科 8人 知能情報システム工学科 7人				
出 願 要 件	農学部の出願要件 次の各号の要件すべてに該当し、学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校または中等教育学校を令和9年3月卒業見込みの者（留学により、令和8年度の学年の途中または学期の区分に従い高等学校または中等教育学校の卒業を認められた者を含む。） ② 通常の課程による12年の学校教育または通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を令和9年3月までに修了見込みの者 ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和8年4月以降に修了した者および令和9年3月までに修了見込みの者 (2) 学業・人物ともに優れ、志望学科に関連する分野における学習に強い意欲を有する者 (3) 令和9年度大学入学共通テストで、当該学部・学科が指定する教科・科目（選抜方法等参照）を受験する者 (4) 学校推薦型選抜に合格した場合は、必ず入学することを確約できる者 工学部の出願要件 次の各号の要件すべてに該当し、学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校または中等教育学校を令和8年3月から令和9年3月までに卒業および卒業見込みの者（留学により、令和7年度または令和8年度の学年の途中または学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。） ② 通常の課程による12年の学校教育または通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を令和8年3月から令和9年3月までに修了および修了見込みの者 ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和7年4月以降に修了した者および令和9年3月までに修了見込みの者 (2) 学業・人物ともに優れ、志望学科に関連する分野における学習に強い意欲を有する者 (3) 令和9年度大学入学共通テストで、当該学部・学科が指定する教科・科目（選抜方法等参照）を受験する者 (4) 学校推薦型選抜に合格した場合は、必ず入学することを確約できる者 推薦人数 学校長が推薦する人数は、制限しません。				

選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの成績、学校長の推薦書、出身学校調査書および志望理由書を総合して選考します。 なお、大学入学共通テストの成績の過年度利用は行いません。		
	大学入学共通テストで受験を課す教科・科目（農学部）		
	学 科 名	大学入学共通テストで受験を課す教科・科目名	
	全 学 科	国 語	『国語』
		地 理 歴 史 公 民	『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『公共，倫理』『公共，政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』から1科目選択 2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
		数 学	『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』計2科目
		外 国 語	『英語（リスニングを含む。）』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目選択
	生 物 生 産 学 科 応 用 生 物 科 学 科 環 境 資 源 科 学 科 地 域 生 態 シ ス テ ム 学 科	理 科	『物理』『化学』『生物』『地学』から2科目選択
	共 同 獣 医 学 科		『物理』『化学』『生物』から2科目選択
	大学入学共通テストで受験を課す教科・科目（工学部）		
学 科 名	大学入学共通テストで受験を課す教科・科目名		
応 用 化 学 科	国 語	『国語』	
全 学 科	数 学	『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』計2科目	
	外 国 語	『英語（リスニングを含む。）』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目選択	
生 命 工 学 科	理 科	『物理』『化学』『生物』から2科目選択	
生 体 医 用 シ ス テ ム 工 学 科 機 械 シ ス テ ム 工 学 科 知 能 情 報 シ ス テ ム 工 学 科		『物理』と『化学』『生物』『地学』から1科目選択 計2科目	
応 用 化 学 科 化 学 物 理 工 学 科		『物理』と『化学』の2科目	
生 命 工 学 科 応 用 化 学 科 機 械 シ ス テ ム 工 学 科 知 能 情 報 シ ス テ ム 工 学 科	情 報	『情報Ⅰ』	
出 願 期 間	令和9年1月14日（木）～令和9年1月20日（水）		
選 抜 期 日			
合 格 発 表 日	令和9年2月10日（水） ※結果通知発送		
そ の 他	詳細については、令和8年8月下旬発表予定の学校推薦型選抜学生募集要項を参照してください。		

令和9年度 学校推薦型選抜（産業動物獣医師養成枠）

東京農工大学

実施学部・学科名 募 集 人 員	農学部 共同獣医学科 …………… 若干名								
出 願 要 件	次の各号の要件すべてに該当し、学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校または中等教育学校を令和9年3月卒業見込みの者（留学により、令和8年度の学年の途中または学期の区分に従い高等学校または中等教育学校の卒業を認められた者を含む。） ② 通常の課程による12年の学校教育または通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を令和9年3月までに修了見込みの者 ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和8年4月以降に修了した者および令和9年3月までに修了見込みの者 (2) 学業・人物ともに優れ、共同獣医学科に関連する分野における学習に強い意欲を有する者 (3) 令和9年度大学入学共通テストで、共同獣医学科が指定する教科・科目（選抜方法等参照）を受験する者 (4) 産業動物獣医師又は公務員獣医師の確保を目的とした修学資金給付制度を制定している機関・団体等の推薦を受けた者 (5) 卒業後、産業動物獣医師又は公務員獣医師として自治体等で勤務することに強い意欲を有する者 (6) 学校推薦型選抜産業動物獣医師養成枠に合格した場合は、必ず入学することを確約できる者 その他 (1) 産業動物獣医師又は公務員獣医師の確保を目的とした修学資金給付制度を制定している機関・団体等が推薦する人数は、特に制限しません。 (2) 他大学の獣医学科等が実施する地域枠入試との併願は認めません。 (3) 本学の学校推薦型選抜との併願は認めません。								
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの成績、学校長の推薦書、出身学校調査書、志望理由書および産業動物獣医師又は公務員獣医師の確保を目的とした修学資金給付事業を制定している機関・団体等の推薦状を総合して選考します。 なお、大学入学共通テストの成績の過年度利用は行いません。 大学入学共通テストで受験を課す教科・科目 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">大学入学共通テストで受験を課す教科・科目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数 学</td><td>『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』 計2科目</td></tr> <tr> <td>理 科</td><td>『物理』『化学』『生物』から2科目選択</td></tr> <tr> <td>外 国 語</td><td>『英語（リスニングを含む。）』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目選択</td></tr> </tbody> </table>	大学入学共通テストで受験を課す教科・科目名		数 学	『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』 計2科目	理 科	『物理』『化学』『生物』から2科目選択	外 国 語	『英語（リスニングを含む。）』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目選択
大学入学共通テストで受験を課す教科・科目名									
数 学	『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』 計2科目								
理 科	『物理』『化学』『生物』から2科目選択								
外 国 語	『英語（リスニングを含む。）』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目選択								
出 願 期 間	令和9年1月14日（木）～令和9年1月20日（水）								
選 抜 期 日									
合 格 発 表 日	令和9年2月10日（水） ※結果通知発送								
そ の 他	(1) 募集人員の若干名は、最大2名程度とします。 (2) 選抜の結果、合格者なしとなる場合があります。 (3) 詳細については、令和8年8月下旬発表予定の学校推薦型選抜学生募集要項を参照してください。								

令和 9 年度 社会人入試（特別選抜）

東京農工大学

実施学部・学科名 募 集 人 員	農学部 生物生産学科 応用生物科学科 環境資源科学科 地域生態システム学科 } 各学科若干名
出 願 要 件	令和 9 年 3 月 31 日までに満 23 歳に達し、社会人としての経験を通算 5 年以上（満 5 年を含む。）有する者で、次の各号のいずれかに該当する者 (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和 9 年 3 月までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育または通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者および令和 9 年 3 月までに修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の各項目の一つに該当する者および令和 9 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者 ① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（昭和 56 年文部省告示第 153 号） ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者 ③ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準（平成 17 年文部科学省告示第 137 号）を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者（平成 17 年文部科学省告示第 167 号） ④ 文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号） ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。） ⑥ 学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和 4 年文部科学省令第 18 号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除し、学力試験、面接、志望理由書、出身学校調査書等を総合して選考します。
出 願 期 間	令和 9 年 1 月 14 日（木）～令和 9 年 1 月 20 日（水）
選 抜 期 日	令和 9 年 2 月 25 日（木）・2 月 26 日（金）
合 格 発 表 日	令和 9 年 3 月 6 日（土） ※結果通知発送
そ の 他	詳細については、令和 8 年 8 月下旬発表予定の特別選抜学生募集要項を参照してください。

令和9年度 私費外国人留学生入試（特別選抜）

東京農工大学

実施学部・学科名 募 集 人 員	農 学 部 生物生産学科 応用生物科学科 環境資源科学科 地域生態システム学科 共同獣医学科 各学科若干名 工 学 部 生命工学科 生体医用システム工学科 応用化学科 化学物理工学科 機械システム工学科 知能情報システム工学科 各学科若干名
出 願 要 件	次の(1)、(2)、(3)、(4)のすべてに該当する者 (1) 日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者は除く。） (2) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者または有する見込みの者で、次のいずれかに該当する者 ① 外国において学校教育における12年の課程^(注)を修了した者もしくは令和9年（2027年）3月までに修了見込みの者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（昭和56年文部省告示第153号） (注) 「外国において学校教育における12年の課程」とは、地理的、場所的に外国で、滞在国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであることを要します。外国にあるインターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者は、この要件①によって出願が認められないケースや出願資格の確認に時間がかかる場合があるので、必ず本学学務部入試企画課に問い合わせのうえ、令和8年（2026年）11月10日（火）までに必要な書類を提出してください。 ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者 ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格（ライフエを含む。）を有する者 ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者 ⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者 ⑥ 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者 ⑦ アメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、同国コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるアソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル、同国ジョージア州に主たる事務所が所在する団体であるコグニア、同国マサチューセッツ州に主たる事務所が所在する団体であるニューイングランドアソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、オランダ王国南ホラント州に主たる事務所が所在する団体であるカウンスル・オブ・インターナショナル・スクールズ又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国ロンドンに主たる事務所が所在する団体であるカウンスル・オブ・ブリティッシュ・インターナショナル・スクールズから教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者 ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年（2027年）3月31日までに18歳に達する者 入学資格審査を希望する者は、必ず本学学務部入試企画課に問い合わせのうえ、令和8年（2026年）11月10日（火）までに必要な書類を提出してください。 (3) 独立行政法人日本学生支援機構が令和8年（2026年）6月または11月に実施する「2026年度日本留学試験」を受験した者（日本留学試験で受験を課する教科等については次ページを参照のこと）

	(4) 英語検定試験 次の英語検定試験のいずれかの基準を満たしている者 TOEIC L&R 500点以上 TOEFL iBT 52点以上 (注) TOEFL iBTの新スコア（バンドスコア）の取扱いについて 2026年1月21日以降に実施されたTOEFL iBTを受験し、バンドスコア（1.0～6.0）によるスコアレポートを提出する場合、本学が定める「TOEFL iBT 1-6の新スコアと0-120の旧スコア対照表」に基づき換算した合計スコアを用います。換算後の合計スコアが52点以上であれば出願を認めます。詳細は、募集要項で確認してください。
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除し、本学が実施する面接試験の成績、日本留学試験の成績および各種証明書等を総合して選考します。
出 願 期 間	令和9年（2027年）1月15日（金）～令和9年（2027年）1月25日（月）
選 抜 期 日	令和9年（2027年）2月26日（金）
合 格 発 表 日	令和9年（2027年）3月6日（土） ※結果通知発送
そ の 他	詳細については、令和8年（2026年）8月下旬発表予定の特別選抜学生募集要項を参照してください。

私費外国人留学生入試における 2026年度日本留学試験で受験を課す教科・科目等

〔農学部〕

- ① 出題言語は日本語とする。
- ② 受験を課す教科・科目

学 科 名	日本留学試験で受験を課す教科・科目名	
生 物 生 産 学 科 応 用 生 物 科 学 科 共 同 獣 医 学 科	日 本 語	
	数 学	コース2
	理 科	化学、生物の2科目
環 境 資 源 科 学 科 地 域 生 態 シ ス テ ム 学 科	日 本 語	
	数 学	コース2
	理 科	物理、化学、生物から2科目選択

〔工学部〕

- ① 出題言語は日本語または英語のどちらでもよい。
- ② 受験を課す教科・科目

学 科 名	日本留学試験で受験を課す教科・科目名	
生 命 工 学 科	日 本 語	
	数 学	コース2
	理 科	物理、化学、生物から2科目選択
生 体 医 用 シ ス テ ム 工 学 科 機 械 シ ス テ ム 工 学 科 知 能 情 報 シ ス テ ム 工 学 科	日 本 語	
	数 学	コース2
	理 科	物理と「化学、生物から1科目選択」の計2科目
応 用 化 学 科 化 学 物 理 工 学 科	日 本 語	
	数 学	コース2
	理 科	物理、化学の2科目

Ⅵ. 受験上および修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）等のある者で、受験上および修学上の配慮を必要とする者は、志願する選抜の募集要項で定める期限までのできるだけ早い時期に申請書を提出してください。申請内容によっては、本学の試験日までに対応できず、配慮できないこともあります。

※事前相談の申請をした場合であっても、本学への出願が義務付けられるわけではありません。

※「座布団」「クッション」「タオル」「ひざ掛け」「手袋」「ティッシュペーパー」「ハンカチ」「目薬」の持参使用については、受験上の配慮の申請は不要です。

1. 事前相談の方法

事前相談に当たっては、「2. 申請書の作成例」に従って申請書を作成し、「3. 添付資料」に記載された必要書類を添付して提出してください。なお、必要な場合は、本学において志願者等との面談等を行います。

2. 申請書の作成例

A4判縦。様式は自由ですが、以下の内容を記載してください。

東京農工大学長 殿	令和 年 月 日
	フリガナ
	氏 名
	生年月日・性別
	住 所 〒
	電話番号
	メールアドレス
東京農工大学を受験したいので、下記のとおり事前に相談します。	
記	
1. 志望する学部・学科	
2. 選抜試験名（前期日程試験、SAIL入試、学校推薦型選抜 等）	
3. 障害等の種類、程度	
4. 受験上希望する配慮事項	
5. 修学上希望する配慮事項	

3. 添付資料

①医師の診断書原本

※②の添付があり、同等の配慮を希望する場合は写しでも可

②大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書（写）

※決定通知書の取得前に申請する場合は受験上の配慮事項審査結果通知書（写）を添付

※②の提出の可否については、志願する選抜の募集要項を参照のこと

③障害者手帳（写）等、参考となる資料

4. 提出・問合せ先

東京農工大学学務部入試企画課

〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1

電話 042-367-5837、5544

Ⅶ. 入試情報開示について

「一般選抜学生募集要項」および「学校推薦型選抜学生募集要項」に掲載しますので、ご覧ください。

Ⅷ. 募集要項等の発表および請求方法

1. 発表（配布）予定

総合型選抜学生募集要項	令和8年7月下旬
学校推薦型選抜学生募集要項	令和8年8月下旬（Web上での発表のみ）
特別選抜学生募集要項	令和8年8月下旬
一般選抜学生募集要項	令和8年10月下旬（Web上での発表のみ）
大学案内	令和8年5月中旬
入試情報	令和8年7月下旬

2. 請求方法

「総合型選抜学生募集要項」「特別選抜学生募集要項」「大学案内」および「入試情報」（令和8年度入試結果等を掲載した冊子）は、次の（１）～（５）のいずれかの方法により請求できます（「一般選抜学生募集要項」および「学校推薦型選抜学生募集要項」はWeb上での発表のみ）。

（１）本学のホームページからの請求方法

本学のホームページから、「テレメール」「モバっちょ」等による資料請求ができます。詳しくは、東京農工大学のホームページをご覧ください。（https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_gakubu/seikyu/）

（２）テレメールによる請求方法

- ① インターネット（パソコン・スマートフォン）をご利用ください。



テレメール

<https://telemail.jp>



- ② 資料は通常、発送日からおおむね3～5日でお届けできます。なお、17時30分までの受付は当日発送、17時30分以降の受付は翌日発送となります。随時発送の資料が1週間以上（予約受付の資料は発送開始日から1週間以上）経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、発送開始までの請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送します。

※受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

※資料の料金は、資料到着後2週間以内に、お届けする資料に同封の支払方法を確認の上お支払いください。

テレメールでの資料請求における資料のお届け・個人情報に関するお問合せ・お申し出先
テレメールカスタマーセンター IP電話 050-8601-0102（受付時間 9：30～18：00）まで

※テレメールカスタマーセンターは、株式会社フロムページが管理運営しています。

（３）「モバっちょ」による請求方法

- ① インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）をご利用ください。

<https://djcm-b.tuat3/>

パソコン・スマートフォン・携帯電話とも共通アドレスです。

対応するスマートフォン・携帯電話で
読み取ることができます。



- ② ガイドンスに従って登録してください。

【料金の支払方法等】

- 1 請求時払い：スマホ払い、携帯払い、クレジットカード払いができます。（支払手数料は別途 50 円必要です。）
※スマートフォン・携帯電話の機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒に支払できない場合がございます。その場合、コンビニ後払いを選択してください。
- 2 後払い：資料到着後、コンビニでお支払いください。（別途、支払手数料 126 円が必要です。）
- 3 請求から 2～5 日程度で送付されます。宅配発送の場合は 1～3 日で送付されます。

《モバっちょでの請求に関するお問合せ先》

大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター 050-3540-5005（平日10：00～18：00）

（４）宅配による請求方法

インターネット（パソコン・スマートフォン）またはFAX（28ページ）で東京農工大学生協に申し込んでください。当日受付分は当日または翌日発送となります。土日・休日・休業日は翌営業日対応となります。発送は宅急便で送料は着払い扱いとなります。

なお、配達予定日を過ぎても到着しない場合は、③の問合せ先にご連絡ください。

夏季休業日、年末年始の日程については生協ホームページをご覧ください。

（生協ホームページ <https://www.univcoop.jp/tuat/>）

① 受付期間

総合型選抜	ゼミナール入試（農学部） SAIL入試（工学部）	令和8年月上旬～出願開始日まで
特別選抜	社会人入試（農学部）	令和8年9月上旬～出願開始日まで
	私費外国人留学生入試	令和8年9月上旬～出願開始日まで
入試情報		令和8年8月下旬～

※「大学案内」は、いずれの資料を請求しても、1冊同封されます。

② 申込み先

インターネット（パソコン・スマートフォン）の場合	FAXの場合
https://www.univcoop.jp/tuat/info/info_45.html フォームに必要事項を入力し、内容を確認のうえ、送信してください。 対応するスマートフォン・携帯電話で読み取ることができます。 	042-352-7222 （24時間受付） 28ページの「学生募集要項」等申込書をご利用ください。

③ 問合せ先

東京農工大学生協

電話：042-366-0762（休業日を除く11時～14時）

問い合わせフォーム https://text.univ.coop/wfm_bk3/tuat_toi/（休業日を除いて返信します。）

※休業日：夏季休業日・年末年始・土日・祝日

(5) 大学へ直接請求する方法

1) 郵送による場合

切手を貼り付けた返信用封筒（角形 2 号の封筒に、郵便番号、住所、氏名を明記してください。）を同封のうえ、申し込んでください。

《請求方法》

- ① 返信用封筒に320円（速達の場合は650円）の切手を貼り付けてください。
- ② 請求用封筒に返信用封筒を入れ、表のあて名の横に「総合型選抜学生募集要項請求」「特別選抜学生募集要項請求」「入試情報請求」の別を、必ず朱書きで明記してください。
なお、返信用封筒には「送り先」を記載し、「ゆうメール」の文字を表示または記載してください。
※「大学案内」は、いずれの資料を請求しても、1冊同封されます。

③ 請求先

東京農工大学学務部入試企画課（〒183-8538 東京都府中市晴見町 3－8－1）

2) 直接取りにくる場合

以下の窓口で入手できます。月～金曜日（土日・祝日・年末年始を除く。）9:00～12:00、13:00～17:00

- ・学務部入試企画課（東京都府中市晴見町 3－8－1）
- ・小金井地区事務部学生支援室入学試験係（東京都小金井市中町 2－24－16）

送 信 先

東京農工大学生協 御中

FAX 042-352-7222

東京農工大学「学生募集要項」等申込書

下記の要項等を請求します。料金は受取の際に支払います。

申 込 日		令和 年 月 日									
請求する要項等※ (○で囲む)		種 類					部 数				
		総合型選抜 学生募集要項									
		特別選抜 学生募集要項									
		入試情報 (前年度入試結果等 を掲載した冊子)									
配 達 先	郵便番号	〒				-					
	住 所	都 道 府 県									
	フリガナ 氏 名										
	電話番号	() -									

※大学案内は、いずれの資料を請求しても、1冊同封されます。

- (注) 1. 文字はかい書で、はっきりと書いてください。
 2. 「種類」は希望するものを○で囲んでください。
 3. 「住所」はアパート名、棟、号数まで記入してください。

交通案内

農 学 部 JR 中央線

○国分寺駅（新宿から約 30 分）
2 番乗場 南口から府中駅行きバス（明星学苑経由）
約 10 分 晴見町（東京農工大学前）下車

京王線

○府中駅（新宿から約30分）
3番乗場 バスターミナルから国分寺駅南口行きバス（明星学苑経由）
約7分 晴見町（東京農工大学前）下車

JR 武蔵野線

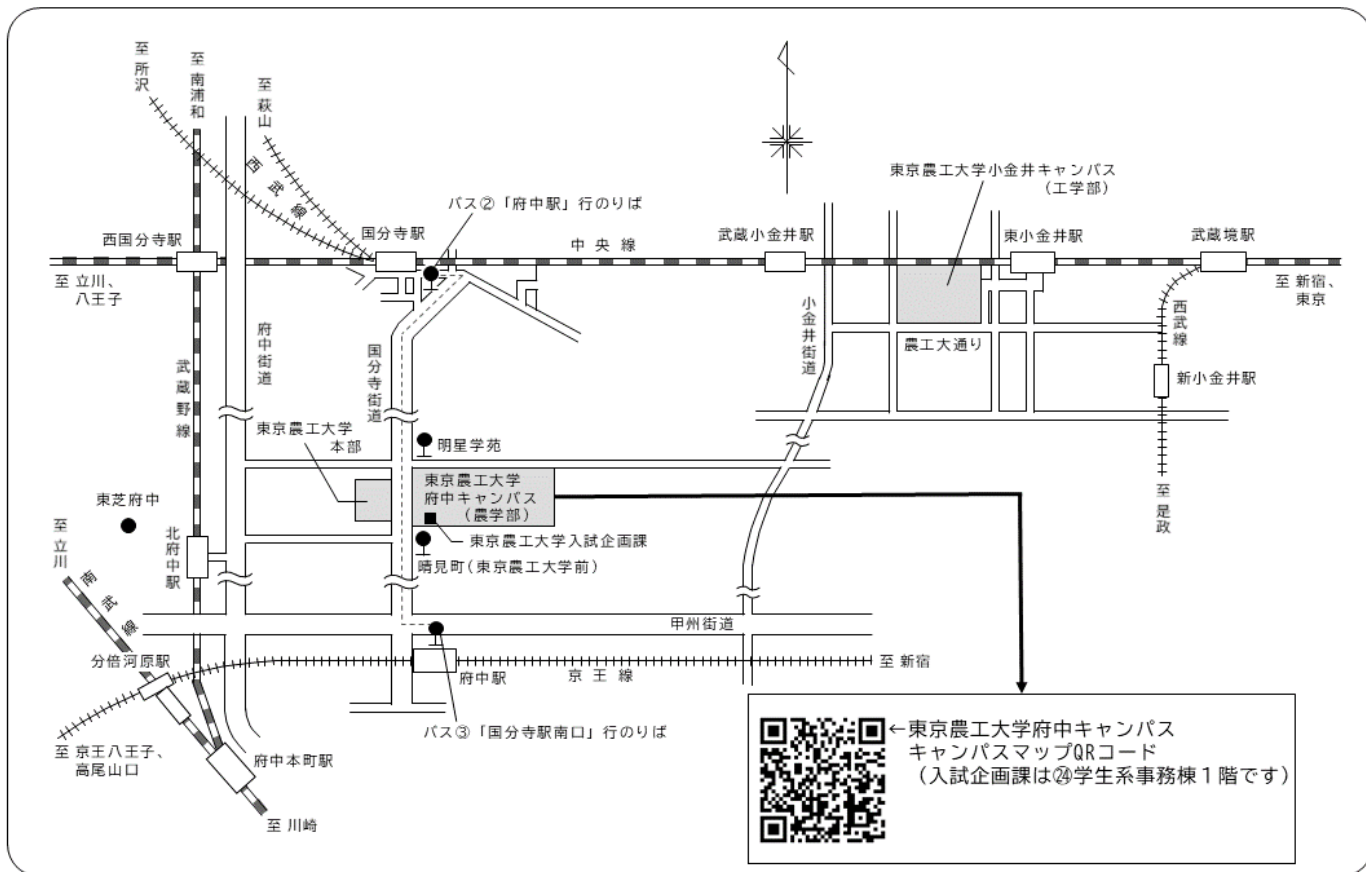
○北府中駅から徒歩約 12 分

工 学 部 JR 中央線

○東小金井駅（新宿から約 24 分）
南口から徒歩約 8 分・nonowa 口から徒歩約 6 分

西武多摩川線

○新小金井駅から徒歩約 12 分



所在地

本部 東京都府中市晴見町 3-8-1
農学部 東京都府中市幸町 3-5-8
工学部 東京都小金井市中町 2-24-16
<https://www.tuat.ac.jp/>

入学試験・入学試験情報に関する問合せ先

◎ 東京農工大学学務部入試企画課
〒183-8538 東京都府中市晴見町 3-8-1
電話 042-367-5837、5544
受付時間
月曜日～金曜日（土日・祝日・年末年始を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

電話等による問合せは、原則として志願者本人が行ってください。